



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 4 日

福島県知事
いわき市長

殿

提出者

住 所 いわき市南台3丁目1番地9

氏 名 鶴見鋼管株式会社
代表取締役 羽田 憲治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0246-62-0550

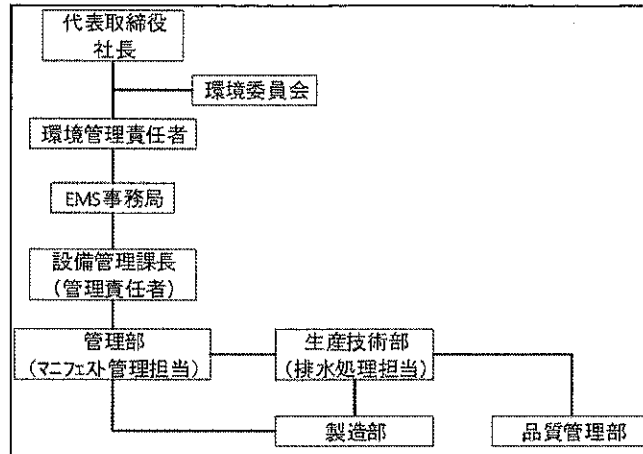
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鶴見鋼管株式会社
事業場の所在地	福島県いわき市南台3丁目1番地9
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	引抜鋼管製造業
② 事業の規模	製造品出荷額：10,016百万円
③ 従業員数	170人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 排出の種類及び排出量について別紙2のとおり

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 汚泥：脱水機更新による含水率低減 排水処理場安定稼働による低含水汚泥の排出(継続) ・ 廃油：フLOATによる浮上油分回収による廃油含水率の低減(継続) 一部の廃油の有価物処理(継続)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 汚泥：排水処理場安定稼働による低含水汚泥の排出(継続) ・ 廃油：フLOATによる浮上油分回収による廃油含水率の低減(継続) 一部の廃油の有価物処理(継続)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 指定置場での分別保管徹底(継続)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物の種類ごとに置場を区画整理(継続)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・廃棄物全般：優良認定及び再生利用業者への委託推進(継続) ・マニフェストの電子化(2019.6月実施) ・処理委託先の定期実地確認頻度の見直し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃棄物全般：優良認定及び再生利用業者への委託推進(継続) ・ 委託先実地確認(継続)		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書(別紙2)

単位: [t]

対象年	産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
		排出量	対目標		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	自ら埋立処分を行った産業廃棄物の量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
			t	対比									
2023計画	生産量[t/年]	14730	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汚泥	751	-	-	0	0	0	0	751	696	55	-	-
	廃油	73	-	-	0	0	0	0	73	73	-	-	-
	廃アルカリ	412	-	-	0	0	0	0	412	310	-	-	-
	金属くず	0.4	-	-	0	0	0	0	0.4	0.4	-	-	-
	廃プラスチック類	14	-	-	0	0	0	0	14	0	13	-	-
	ガラスくず	5	-	-	0	0	0	0	5	5	-	-	-
	木くず	5	-	-	0	0	0	0	5	5	-	-	-
	計	1259	-	-	0	0	0	0	1259	1089	68	-	-
	2023実績	生産量[t/年]	14577	-153	99%	-	-	-	-	-	-	-	-
汚泥		746	-5	99%	0	0	0	0	746	713	33	-	-
廃油		75	2	103%	0	0	0	0	75	47	-	-	-
廃アルカリ		165	-247	40%	0	0	0	0	165	148	-	-	-
金属くず		0.3	-0.1	77%	0	0	0	0	0.3	0.3	-	-	-
廃プラスチック類		17	3	125%	0	0	0	0	17	1	16	-	-
廃酸		56	-	-	0	0	0	0	56	56	-	-	-
ガラスくず		5	1	111%	0	0	0	0	5	5	-	-	-
木くず		4	-1	82%	0	0	0	0	4	-	4	-	-
計		1013	-246	80%	0	0	0	0	1013	914	53	-	-
2024計画	生産量[t/年]	14537	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	汚泥	814	-	-	0	0	0	0	814	746	68	-	-
	廃油	74	-	-	0	0	0	0	74	74	-	-	-
	廃アルカリ	27	-	-	0	0	0	0	27	27	-	-	-
	金属くず	6.4	-	-	0	0	0	0	6.4	6.4	-	-	-
	廃プラスチック類	16	-	-	0	0	0	0	16	0	0	-	-
	廃酸	115	-	-	0	0	0	0	115	115	-	-	-
	ガラスくず	0	-	-	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	木くず	8	-	-	0	0	0	0	8	-	8	-	-
	計	1060	-	-	0	0	0	0	1060	968	76	-	-